



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・卵のようすに着目し、時間の経過と関係づけて魚の成長を調べる活動を通して、生命を尊重する気持ちをもつことができる。

- ・身近な生き物の卵の大きさや形、色、殻の有無などの違いを比較しながら観察することができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・メダカの成長を学習し、他の生き物ではどのように卵から生まれるまでに至るのかを知り、周りへ伝えるように表現することができる。

単元における学習の展開（全 7 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (1 時間)	メダカの飼ひ方、メダカのオスとメスの見比べ方、受精について知る。
第 2 次 (5 時間)	・メダカの卵の成長過程を知る。 ・顕微鏡の使い方を知り、メダカの卵の観察をする。 ・海や水辺の生物の卵について調べる、生き物を決める。 ・海や水辺の生物の卵について班で観点別に画用紙にまとめる（本時）（☆） ・まとめたことを班で発表する。
第 3 次 (1 時間)	・単元のまとめ（これまでの学習をふりかえる）

本時のねらい

- ・メダカの卵の成長の学習から、他の生き物の卵の成長過程を知り、班で協力してまとめる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5 分)	1. 各班でまとめる生き物について確認する。 ・本時のめあて ・メダカの卵と、海や水辺の生物の卵を比較してまとめよう。	・メダカの卵の成長過程の確認をする。 ・見本のクロマグロを参考にして、自分たちの生物を調べるように促す。
展開 (35 分)	2. 白画用紙に卵の数、卵の大きさ、卵の場所、卵からかえる日数についてまとめる。 ・班それぞれ卵の数、卵の大きさ、卵の場所、卵からかえる日数の役割に分かれ、調べる。 ・本やインターネットサイトに書いている情報をそのまま書くのではなく、メダカと違ってどう変わるのか、同じなのかに着目してまとめる。	ねらいに応じて事前に情報を抜粋した本のスキャン画像を見て、必要な情報をまとめていく。 ・まとめる際には、メダカとどう違うのかを意識して、書かせる。 ・完成した班から発表の練習をする。
まとめ (5 分)	3. どこまで出来たか進捗状況を確認し、次回の内容を伝える。 ・自分の班の完成度をそれぞれで確認し、先生にあとどれくらいで完成するかを伝える。	・各グループの進捗状況を確認し、次回の授業での時間配分を考える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・メダカ以外の他の海や水辺の生物の卵について熱心に調べ、話し合い、まとめる児童の姿が見られた。
- ・メダカの卵と他の生き物の卵とはどういうところが同じで、違うのかを比較しながらまとめていく子どもたちの姿が見られた。
- ・事前に収集した情報の中から必要な情報を抜き出し、分類したり関連づけたりしてまとめる姿が見られた。



本や一人一台端末をもとにメダカ以外の他の生き物の卵の数や大きさ、場所等を調べ、自然と伝え合う取組みになっていた。